

# 秋田県立大学大学院システム科学技術研究科の 専攻改組（案）について

公立大学法人秋田県立大学

## 1 基本的考え方

技術革新の進展に伴い産業構造の変化が進む中、本県で成長分野と位置づけている航空機・自動車産業や再生可能エネルギー産業、情報関連産業などを支える人材の育成を図るため、平成30年度に再編を行ったシステム科学技術学部新学科の学年進行に合わせ、大学院の専攻を改組する。

併せて、秋田大学と共同で設置する共同ライフサイクルデザイン工学専攻についても専攻の改組を行う。

## 2 専攻改組（案）の概要

### （1）内容（詳細は別添参照）

現在の博士前期課程5専攻を2専攻（7コース）に再編する。

### （2）学生の受入時期

令和4年4月入学者から

### （3）入学定員

研究科全体の定員は変更しない（博士前期課程50人、博士後期課程8人）。

## 3 今後のスケジュール

令和2年10月 中期計画変更認可申請（大学→県）

令和2年11月 諮問・答申（県↔県地方独立行政法人評価委員会）

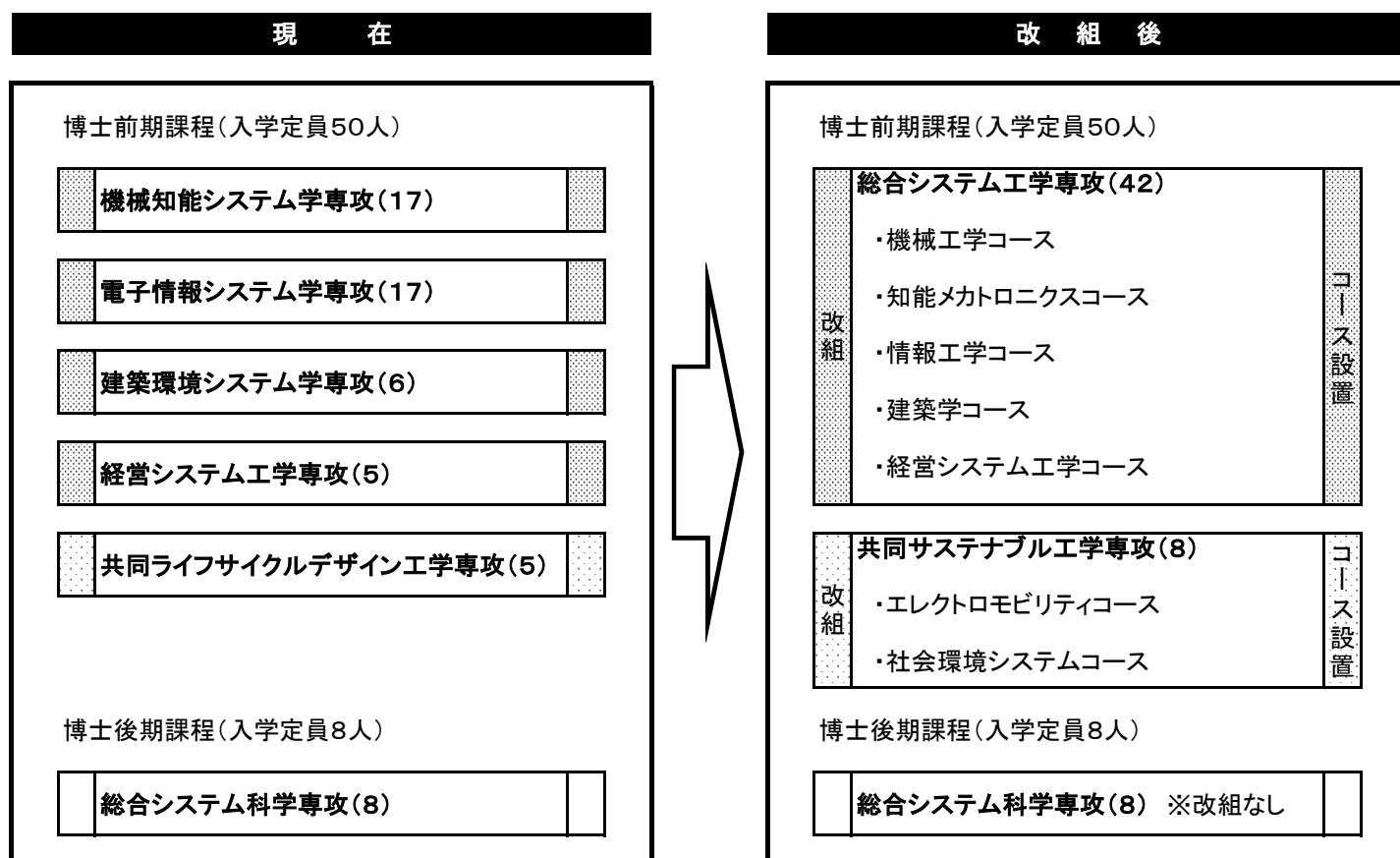
〃 中期計画変更認可（県→大学）

令和3年3月 新専攻設置認可申請（大学→文部科学省）

※文部科学省の指示により、4月に新専攻設置届となる場合あり

令和4年4月 新専攻での学生受入

# システム科学技術研究科 専攻改組(案)



※専攻・コース名については、文科省手続までに変更となる可能性がある。

## 新専攻の特色について

科目選択の幅の拡大や横断的な教育プログラムの実施により専門分野に加えて他の分野においても深い知見をもった高度専門職業人を育成する。

加えて、機械・電機メーカー(自動車、航空機、電機、ロボット、医療機器等)、社会インフラ(電気、ガス、水道、通信、交通)、ICT関連企業(ソフトウェア開発、通信サービス、コンピューター関連機器製造等)など、第2期あきた未来総合戦略において成長分野と位置づけられる県内企業との共同研究等において、大学院生が教員、企業担当者とともに研究に参加するなど、企業と連携した人材の育成を図る。

### 【教育分野】

#### ○ 総合システム工学専攻

学部教育を基礎として、更にシステム思考に高度で先進的な厚みと広がりを持たせることで、グローバルに発展的な未来を切り開く高度専門職業人としての分野横断的な知識・能力及び高い倫理観と責任感を身につけた人材を育成する。

#### ○ 共同サステナブル工学専攻

個々の要素技術を統合し、システムとして最適なエネルギーマネジメントを実現し、サステナブルな循環型社会に資する機器・システムの開発及びビジネスをデザインできる人材を育成する。

### 【研究分野】

#### ○ 総合システム工学専攻

学部新学科に対応した5つのコースを設置することで学部教育と連携を図ることはもとより、融合型の専攻に再編することで既存の専攻の垣根を越えた分野横断的な研究や農工連携など生物資源科学研究科及び木材高度加工研究所との連携を強化した研究等を行う。

#### ○ 共同サステナブル工学専攻

SDGsを実現するため、動力システムの小型軽量電動化、再生可能エネルギーの利活用、ライフサイクルにおける環境適合設計に関連する技術を研究する。